

しんじゆくろくちようめ

- 遺跡の種類
-
- 遺物散布地・都市跡
-
- (屋敷地)

三四七〇九²m²である

井戸・溝・地下室・道・土坑などを検出した。

(東京西北部)

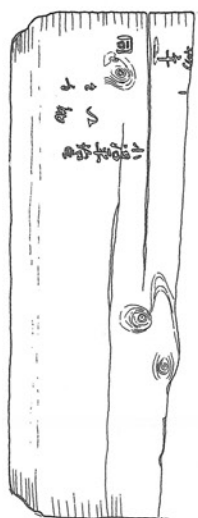
8 木簡の釈文・内容

「☐初☐午」

小沼平治
朗力

箱の板材と考えられる。下半部のみ残り、片面の一角に墨書があり、また図化は難しいが刻印が残る。文字はいずれも墨書と考えられるが、色落ちし、墨痕のあつた部分が白色に浮き出ている。判読可能な文字は人名と思われるものなどである。

東京都埋蔵文化財センター『新宿六丁目遺跡』（東京都埋蔵文化財センター調査報告一六三、二〇〇五年）



(齊藤進)